茨城県原子力安全対策委員会開催結果

1 日 時; 令和2年2月7日(金) 13時30分から15時30分まで

2 場 所; ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸 2階 千波東

3 出席者; 別紙1のとおり

4 結果;

議題「日本原子力研究開発機構における安全管理等について」

議事概要

別紙2のとおり

※ 核物質防護及びセキュリティの観点から議事録は公開できないため、 議事概要のみを掲載しております。

茨城県原子力安全対策委員会(令和元年度 第3回) 出席者名簿

〇 茨城県原子力安全対策委員会委員等

【委員】

岩城 新治郎 一般社団法人茨城県警備業協会 専務理事 (警備) 出町 和之 東京大学大学院工学系研究科 准教授 (保全工学) 中島 健 京都大学複合原子力科学研究所 教授 (原子炉工学)

中島 健 京都人子複古原于刀科子研究別 教授 (原于炉工字) 古田 一雄 東京大学大学院工学系研究科 教授 (原子炉工学)

【アドバイザー】

鈴木 美寿 東京大学大学院工学系研究科 特任教授 (核物質防護)

〇 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

【核燃料サイクル工学研究所】

大森 栄一 所長

百瀬 琢磨 副所長・放射線管理部長

清水 武範 副所長・再処理廃止措置技術開発センター長

郡司 力 副所長

田子 格 保安管理部長

永里 良彦 再処理廃止措置技術開発センター 副センター長

岡野 正紀 再処理廃止措置技術開発センター 技術部 計画管理課 マネージャー

狩野 茂 再処理廃止措置技術開発センター ガラス固化部 ガラス固化処理課長

石井 勇 総務・共生課長

大内 信孝 総務・共生課 副主幹

【本部】

野村 紀男 安全・核セキュリティ統括部 上級技術主席・部長

江籠誠財務部長磯部篤契約部長

曽我 知則 安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 技術主幹

薄井 利英 安全・核セキュリティ統括部 安全・環境課 マネージャー

〇 事務局(茨城県)

山崎剛茨城県防災・危機管理部原子力安全対策課課長

近藤 雅明 同 原子力安全調整監

 木村
 仁
 同
 主任

 石川
 隼人
 同
 主任

加藤 克洋 技師

中川 圭太 同 技師

議題「日本原子力研究開発機構における安全管理等について」に係る議事概要

- 日本原子力研究開発機構(以下「機構」という。)から、資料1を用い、核燃料サイクル 工学研究所におけるトランシーバーの盗難事案に係る再発防止対策等について説明があっ た。
- これに対し、委員から、主に以下のコメントがあった。

【古田委員長】

- ・ 情報セキュリティに限らず、セキュリティ、インテリジェンス、テロ対策等の専門家から意見を聴くなど、原子力安全とは違った視点からもアクセスする必要があるのではないか。
- ・ 簡単な取組として、想像力を働かせ、どんな攻撃があるかということを考えてみるよう な思考実験をやってみては。
- ・ 個人の信頼性確認について、自己申告を受けてチェックしているとのことだが、国際的 に見て自己申告では不十分ではないのか。

【岩城委員】

- ・ 一般の方から見れば、こんなに簡単に盗まれるのかということ。「犯行をやりにくくする」、「捕まるリスクを高める」、「犯行の見返りを減らす」、「その気にさせない」、「犯罪の言い訳をさせない」といった観点を参考に再発防止対策を検討されたい。
- 50日間気づかなかったのは機構,請負会社間で責任のもたれ合いがあるのでは。

【出町委員】

・ 保安管理物品のうち、乾電池のような小さい物については、事前許可制とした場合でも、 許可を得ずに簡単に持ち出せるのではないか。

【中島委員】

・ これまでの事故・トラブルを受けた再発防止対策により、多くの時間、手間、お金がかかり、現場の手がおろそかになることも考えられる。運用していく中で、やり過ぎの点やおかしい点については勇気を持って見直していってほしい。

【岩城委員、出町委員、中島委員、鈴木アドバイザー】

- ・ 再発防止対策として実施するとしている管理区域からの物品搬出時における第三者によるチェックについて、警備員と機構職員の役割分担が不明確ではないか。
- 最後に、古田委員長から、以下の発言があった。
 - 委員においては、他に意見があれば、事務局に提出していただきたい。
 - ・ 機構においては、本日の意見や、今後事務局に提出される意見を踏まえ、再発防止対策 について再検討していただき、資料の追記・修正をお願いしたい。
 - 本件に関する次回委員会の開催の要否については、事務局と相談した上で決定したい。